

第13回通常総会次第

1. 開会の言葉(司会) 小林氏
2. 挨拶 (理事長) 稲岡理事長
3. 議長選出 (司会) 小林氏
4. 議事録署名人及び書記選出(ここから議長)
5. 開会宣言・総会成立報告
6. 審議事項 (議案の決議)
 - 第一号議案 令和元年度事業報告および決算報告について
 - 事業報告(稲岡理事長)
 - 決算報告(中井理事)
 - 監査報告(高橋悦夫監事)
 - 第二号議案 令和2年度事業計画並びに収支予算について
 - 事業計画(稲岡理事長)
 - 収支予算(中井理事)
7. 役員(理事・監事)の選出、新役員の就任承諾
8. 閉会宣言
9. 連絡報告事項
10. 閉会の言葉(司会)

◎新理事会の結果報告…総会後の親睦会会場(同竹林内)にて
新役員就任報告

令和元年度事業報告書 令和元年6月1日から令和2年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ 294 名	76 名	267 千円
事業内容	【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。			
	【内容】 現在、放置竹林は 12.6 千㎡を管理。 放置竹林の枯れ竹処理と定期的の間伐作業を実施、また、たけのこの切り倒しを実施。 1. 長法寺B竹林～バス通りに面する。面積 3 千㎡ 維持管理を始めてから11年となり竹林として景観を維持ができています。定期的 に枯れ竹の間伐と竹の焼却で維持管理実施。今年なたけのこの豊作年で大量の たけのこの処理を実施。間伐も出来ているので作業効率は大幅に改善された。 2. 長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林は定期的の間伐とタケノコの処理を実施している。今期はたけの こをすべて倒し、その後の作業量の低減を図りました。 3. こらさ竹林～面積7千㎡ 景観を良くするため、枯れ竹の搬出と、一部の伐採竹の焼却作業を実施。 京都府緑化推進事業の補助金で、もみじを 20 本植樹した下草刈り、作業道の維持 と焼却穴利用での焼却をした。 毎年、茨木高校生が体育祭に竹材利用と作業応援に来ていただき、双方にプラ スとなった。定期的に枯れ竹の間伐をしています。今年度はたけのこの豊作で 3 回タケノコ倒しに入り、竹の繁殖抑制ができた。三菱電機労組の応援を 1 回/年と 応援に入って頂いたため、作業が大幅に進んだ。 4. 金ヶ原竹林～面積 1.6 千㎡ 金ヶ原竹林は現在十分な作業が出来ていない。今年枯れ竹の倒伐をして搬出 を実施した。さらに枯れ竹の搬出。来期は高齢化のため返却検討中。 5. その他 光風美竹通りの両サイドの竹林約 3.0 千㎡を景観保全のため枯れ竹の処理実施 景観美化実施した。			
	【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積 12.6 千㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺の環境美化に貢献。 活動を継続するため、世代交代に取り組むと共に、会員を増やし若返りを図っていく。			

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ 525 名	企業・学校 184 名	28 千円
事業 内容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 竹の利用用途拡大検討として、竹チップを製作して、たけのこ畑の肥料にした。 良質の竹炭は多忙により制作できなかった。 マーケットの拡大が急務となっている。</p> <p>① 茨木高校へ青竹提供(7月10日) 体育祭用に青竹4m×200本、真竹4m×13本を提供。 こらさ竹林から竹材を伐採・提供した。 共同で、間伐・伐採竹の搬送を実施、学生に放置竹林の現状を理解してもらう。</p> <p>② 京の七夕用に竹と笹を提供(8月上旬) 竹の提供により、京都の竹に関心をもって頂けた。 京都商工会議所ムケ 竹 2m×2本、笹 1m×10本 三条名店街 笹 1m×80本 夷川会 竹 2m×3本、笹 1.2m×21本 その他の七夕用として マムフローラ(介護老人保健施設) 竹 3m×12本 寺戸中学(向日市)、太鼓山自治会(長岡京市)に少量提供</p> <p>③ 紋珠様用に竹提供(1月下旬) ドンボ(親竹伐採)を2トンロング1杯と竹の穂先10束提供した。 用途は竹炭製作用。</p> <p>④ 竹炭を農業用に提供 野焼きで製作した竹炭を提供。 杉原ファーム 軽トラ1台分 三崎様 土のう袋3袋分</p> <p>⑤ イベント用に竹提供 9/14(土)名月の宴 竹灯籠 竹行灯 30cm×200本</p> <p>⑥ トーチ用に竹提供 尾崎様 竹 1.0m×20本、</p> <p>【活動の成果と課題】 今期は農業の竹炭、わら抑え用の竹使用用途減少。 竹チップはたけのこ畑の作業効率アップと有機肥料に使用した。 今後、竹有効利用の拡大として竹炭製作グループとのタイアップを考えてゆきたい。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 および明神前竹林	757人	70名 (エコグループ)	546千円
事業 内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 対象はタケノコ畑の管理竹林の長法寺 A 竹林～面積 4 千㎡と明神前竹林～2 千㎡一連の作業（新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ）を実施。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。</p> <p>（主な共同作業）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 5月 先止め、お礼肥～タケノコ掘りが終わったあと ② 7月 お礼肥え、下草刈 ③ 8月 サバエ刈り ④ 9月 親竹の更新 ⑤ 10月 稲わら収集～長岡京市内 ⑥ 11月 施肥・ワラ敷き ⑦ 12月 土入れ～バックフォー、運搬車投入（2日間） ⑧ 4月 タケノコ掘り <p>【活動の成果と課題】</p> <p>今年度は経験したことのないほどの初掘りが早く、不安なスタートであった。 A 竹林は表と裏年の中間位の収穫量となり、3年目を迎える明神前竹林の収穫量は品質はやや落ちるが昨年より 40%アップして A 竹林の 56%の収穫を得た。 収穫した両竹林のタケノコ約 2,500kg(前年比+700kg) は、会員・エコツアー体験者等の頒布には十分な量となった。</p> <p>会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年同様に安価でタケノコを頒布出来た。</p> <p>年々高齢化していく中での作業（土入れの運搬作業）の負担の対策として、今年も土入れ作業にバックフォーを A 竹林は 2 日、明神前竹林に 1 日投入して、3 作業日で済ませて、無事年内に終了することが出来た。</p> <p>また 1 昨年の台風で半分近くの竹がいじめられて弱っているため、タケノコの品質アップのため肥料投入量を倍増した。</p> <p>●明神前竹林はタケノコ畑として維持管理されていただけあり、日当たりの良さもあって成長が早いので、タケノコ掘りが後手に回らないように、この竹林の近くに住んでいる会員数名にほぼ選任の掘り手をお願いしました。 さらに、大量に出る中掘りタケノコをご近所に引き取って貰う新たな頒布ルートもトライして頂きました。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約 231 人	展示会に来場の 一般の市民 約 1000 人	57 千円
事業 内 容	<p>【目的】 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントで展示、また、各種団体、個人の見学の受け入れ、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与するとともに、会員勧誘活動につなげていく。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種地域活動への参加、イベントへの製作品展示と、見学受け入れ等は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 03/13 (水) NHK プレミアム「ニッポンの里山」放映 再放送数度あり ～キツネがすむタケノコの里～ (竹の学校が周辺で1年間撮影に協力) ・ 06/20 (木) 銀化俳句会の主宰・中原道夫氏に竹林案内 (キヌガサダケ観賞) ・ 06/22 (土) 龍谷大深尾ゼミ生の竹林整備体験 5名～こらさ竹林 ・ 06/22 (土) モリビトの会 (知多市) 筍栽培見学 12名～A 竹林 ・ 07/10 (水) 神戸市役所企画調整局 竹林整備と活用調査訪問～A 竹林 ・ 07/20 (土) 流しソーメン大会 開田保育所招待 17名～A 竹林 ・ 08/28 (水) 「知多 竹林づくりの会」タケノコ作り視察 20名～A 竹林 ・ 09/14 (土) 「名月の宴」に協賛 竹あんどん 20本展示～勝竜寺城公園内 ・ 10/03 (木) 「竹林資源利活用ネットワーク会合」出席～市役所 ・ 10/06 (日) 「長岡京ジャズライブ」に協力～産業文化会館 竹あんどん、竹灯ろう展示、苔玉販売、パネル展示 ・ 10/20 (日) 「サポセンフェスティバル 2019」に出品～バンビオ広場 竹灯籠作り、竹の苗ポット・カゴ入り竹炭、苔玉販売 ・ 11/06 (水) 長岡中学1学年の竹の総合学習講師～長岡中学 ・ 11/16 (土) 第11回環境フェア出展～中央公民館 活動パネル・竹あんどん・竹細工展示 ・ 11/18 (月) 京大学院生ヒヤリング～A 竹林 ・ 02/09 (日) 長法稲荷神社初午祭礼参列～長法稲荷 <p>【活動の成果と課題】 竹行燈作品はレベル・芸術性の評価も高く、展示会への期待度も高いので、竹あかり・環境フェアへの参加を継続する予定だが、新型コロナウイルス感染対策により、イベント自体が全て中止の方向。 今年もインターネットを通じて広報活動が実ってきたことと、会員皆様の勧誘により4名の会員が増えた。 これからも、広報の重点を会員募集におくようにしていく。</p>			

2019年度(令和元年) 活動計算書

2019年6月1日から2020年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 会費		
正会員受取会費	33,000	
入会金	4,000	37,000
2. 寄付金		
受取寄付金	0	0
3. 受取助成金		
長岡京水資源対策基金	199,780	199,780
4. 事業収益		
(1) 筍栽培事業		
会員筍頒布料	420,900	
発送料、箱代	143,500	
工口頒布料	110,300	
入山協力金	14,500	689,200
(2) 放置竹林整備事業	0	0
(3) 竹材有効活用事業	27,500	27,500
(4) 地域活動		
竹材活用品提供協力金	57,100	
協賛協力金	0	57,100
5. その他収益		
雑収入	30,024	30,024
経常収益計		1,040,604
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	0
(2) その他経費		
賃借料	0	
委託料	276,640	
材料費	106,860	
消耗備品	97,756	
補修費	105,286	
交通費	0	
労務費	37,583	
車両費	45,000	
消耗品費	116,386	
雑費	4,787	
その他経費計	790,298	
事業費計		790,298
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
地代家賃	131,400	
宣伝広告費	12,960	
水道光熱費	2,000	
通信費	2,108	
福利厚生	18,500	
租税公課	0	
交通費	55,050	
印刷費	4,193	
交際費	4,570	
事務費	3,607	
雑費	70,762	
会議費	2,170	
その他経費計	307,320	
管理費計		307,320
経常費用計		1,097,618
当期正味財産増減額		-57,014
前期繰越正味財産額		768,548
次期繰越正味財産額		711,534

2019年度(令和元年) 財産目録

2020年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位：円)


科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	94,298		
普通預金			
ゆうちょ銀行	66,823		
京都銀行	496,563		
JAバンク	53,850		
流動資産合計		711,534	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			711,534
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産合計			711,534

特定非営利活動促進法 第18条の規定に基づき、令和元年6月1日から令和2年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び活動計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び活動計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事 高橋悦文 

監事 高橋治女 

令和元年度 貸借対照表

令和2年5月31日現在

特定非営利活動法人 竹の学校
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	711,534		
流動資産合計		711,534	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			711,534
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		768,548	
当期正味財産増減額		-57,014	
正味財産合計			711,534
負債及び正味財産合計			711,534

本書は当法人の貸借対照表に相違ありません

特定非営利活動法人 竹の学校

理事長 稲岡 利春



令和元年度（令和2年6月～令和3年5月）事業計画案

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

実施時期・目標

- 1) 放置竹林整備作業
 - ① 長法寺A竹林 タケノコ栽培・・・3) 項参照 通年作業による
 - ② 明神前竹林 タケノコ栽培・・・3) 項参照 ①より10日先行
 - ③ 長法寺B/C竹林 間伐作業 奇数月 第4(土)
 - ④ 金ヶ原竹林 伐採作業・伐採竹搬出 偶数月 第4(土)
 - ⑤ こらさ竹林 伐採作業・伐採竹搬出 毎月 第2(土)

- 2) 竹材の有効利用 (4.5.11.12月以外)
 - ① 伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討 10月・2月
 - ② 伐採竹で竹工芸・竹細工 毎月第1・3(土)
 - ③ 現在の伐採竹提供先の継続 ※今期はイベント絡みで中止見込み
 - 茨木高校生の竹取り対応 6月
 - 京の七夕・地域の七夕用竹材供給 7月
 - 夏の流しソーメン用竹材供給 7～9月
 - ④ 伐採竹の新たな活用先(竹枝・穂先供給)の開拓 9・10月

- 3) 京たけのこの生産と技術継承(長法寺A竹林、明神前竹林)
 - ① 京都式軟化栽培法の継承
 - 新竹心止め5月 下草刈り 7月
 - 施肥 6・11月 間伐 9～10月
 - 藁敷き 11月 土入れ 12月
 - ② 土入れにバックホウ投入 12月
 - (高齢化対策のための機械化の推進)
 - ③ 改良施肥方法の継続(効果改良・作業軽減) 6・11月
 - 施肥 従来3回→2回(明神前竹林は3回)

- 4) 地域活動・支援活動
 - ① エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 4・5月
 - 間伐作業の体験 9～10月
 - ② 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化 2回(春・秋)
 - ③ 他グループとの協業・見学受け入れ 3団体程度

※ただし以下のイベントはコロナ禍で中止見込み

 - ④ 竹工芸品(主に竹行灯)の展示による広報活動 3回
 - 名月の宴、サポセンフェスタ(夜の部)と環境フェア
 - 竹材確保と竹灯籠づくり 9月
 - ⑤ 京の七夕に協賛 7月

以上

2020年度(令和2年) 活動予算書

2020年6月1日から2021年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位：円)
I 経常収益			
1. 会費			
正会員受取会費	33,000		
入会金	3,000	36,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	10,000	10,000	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	200,000	200,000	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	380,000		
送料、箱代	150,000		
工口頒布料	120,000		
入山協力金	35,000	685,000	
(2) 放置竹林整備事業	0	0	
(3) 竹材有効活用事業	30,000	30,000	
(4) 地域活動			
竹材活用品提供協力金	30,000		
協賛協力金	5,000	35,000	
5. その他収益			
雑収入	2,000	2,000	
経常収益計			998,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃借料	30,000		
委託料	210,000		
材料費	100,000		
消耗備品	140,000		
補修費	110,000		
交通費	10,000		
労務費	40,000		
車両費	45,000		
消耗品費	100,000		
雑費	10,000		
その他経費計	795,000	795,000	
事業費計			
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	120,000		
宣伝広告費	13,000		
水道光熱費	2,000		
通信費	3,000		
福利厚生	18,000		
租税公課	0		
交通費	60,000		
印刷費	5,000		
交際費	5,000		
事務費	5,000		
雑費	30,000		
会議費	3,000		
その他経費計	264,000	264,000	
管理費計			
経常費用計			1,059,000
当期正味財産増減額			-61,000
前期繰越正味財産額			711,534
次期繰越正味財産額			650,534

令和2年7月18日
NPO法人 竹の学校

令和2年度作業責任者（案）

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. 京たけのこ生産
頒布 | 担当 野本
担当 中井、澤田石 |
| 2. 会計全般 | 担当 中井 |
| 3. 竹林伐採整備 | 担当 世良田、高橋え、荒木 |
| 4. 竹林内環境整備 | 担当 小椋、荒木、梶原 |
| 5. 竹工芸 | 担当 稲岡と、澤、梶原、市葉 |
| 6. 花壇の維持管理 | 担当 稲岡き、高橋も |
| 7. 備品管理（物置管理） | 担当 高橋え、中井 |
| 8. 広報
竹林日記
ホームページ管理・エコツアー受入れ | 担当 稲岡と、世良田、中井
担当 稲岡と |
| 9. 竹炭作り | 担当 高橋え、荒木 |
| 10. 竹あかり・環境フェア | 担当 東、中矢、澤田石 |
| 11. 竹の学校イベント・教育 | 担当 中井、澤田石、西角 |
| 12. 外渉窓口 | 担当 世良田、稲岡と（WEB） |

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人にも積極的な協力をお願いします。